

# きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療

## 新病棟がオープンします

### ～緩和ケア病棟(6階)～

最上階の6階に18室、ゆったりとして落ち着いた雰囲気のある病棟を開設する運びとなりました。

私は、これまで呼吸器外科を専門に肺がんの患者さまの治療を行ってきました。その治療を行っていく中で、終末期に至る患者さまの緩和医療の必要性を常日頃から感じておりました。

この播磨地区には、緩和医療を専門とする病棟はまだまだ充足しているとはいえ、これまでは遠方の病院に入院されておられたと思います。

当院の緩和ケア病棟の開設によって、市民の方々や周囲の病院の皆さまの不安などが少しでも解消できるようお役立ちできればと考えております。

しかし、新しい病棟が出来たことだけでは、何も始まっておりません。患者さまご家族に満足していただける質の高い医療・ケアが提供できるよう、精一杯頑張っていきたいと考えております。

皆さまに認めていただけるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



医師：若原 鉄平

日本外科学会専門医  
呼吸器外科専門医

「緩和ケア病棟」とは、  
がん患者さまとご家族が抱えている身体の痛み、気持ちのつらさ  
などさまざまな苦痛を和らげるためのケアを提供する病棟です。



談話室



屋上庭園

## ～血液浄化センターの増設(4階)～

医師：<sup>かねみつ</sup>金光 <sup>のりかず</sup>律和

(日本透析医学会専門医)



(金光医師は、後列右から3番目)

7月より、4階に新たに血液浄化センター(透析治療室)を増設し、透析ベッド総数を28床から35床に増床いたしました。今後は段階的に45床まで増やしていく予定です。

末期腎不全で、透析治療を受けている患者さまは全国で昨年末時点約31万人となっており、毎年着実に増加している状況です。当院でも昨年新規に透析を開始した患者総数は、71人で前年より約20人増加しました。当院の透析治療は歴史が長く、昭和44年4月から高砂市・加古川市を中心に、腎疾患一般を含め、透析導入から合併症に対する入院加療に幅広く対応して参りました。

整形外科疾患に関しては常勤医師不在のため、今年4月以降入院加療への対応はできなくなっております。他科とも協力しながら、地域医療に貢献していけるようにと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

### 1.第2回 生活習慣病予防教室

テーマ **糖尿病の当院の最新情報**

～新しい検査とその効果!～

日時 7月17日(水) 13:30～14:30 (受付13:00～)

場所 2階 講義室

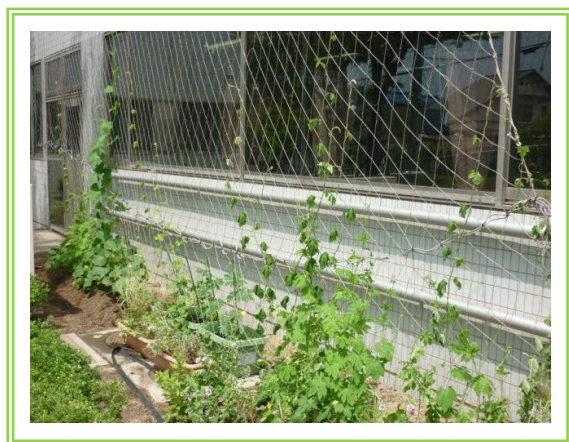
講演者 内科 横田一樹医師

参加費 無料

持ち物 筆記用具・メモ帳



### 2. 緑のカーテン ～ゴーヤの成長日記～



(平成25年6月28日撮影)



ボランティアの方  
います。ありがとうございます  
これからも楽しみです ♡♡♡

**きほうへのかけはし**

に関するお問合せは、  
地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981 (内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>